



## 寒い地方でも米作りが盛んになったのはどうして

### 品種改良で作れるようになった

米(稲)は、もともと、アジアの熱帯地方の水にめぐまれた土地の作物です。日本には、今から2000年ほど前に伝えられました。日本に伝えられた稲作は、西南日本から東北日本へとしだいに広まっていきました。

今では平地はもとより、中部地方の1000メートルをこす高地や、北海道のように、夏でもわりあい気温の低いところでも作られています。

自然の力に打ち勝って、農業生産を上げていく仕事に品種改良があります。明治時代になると、稲の品種改良が行われ、寒さに強い品種や、生育の早い早生品種などが作られました。また、保温折衷苗代(寒い土地で健やかな稲を育てたり、早植えのための方法)や冷害をふせぐ農薬などの新しい栽培技術も、どんどん取り入れられました。こうして、寒い地方でも稲作ができるようになりました。

### 北海道の稲作の北進

北海道で米を作ることに成功したのは、明治の初めです。1877年には北海道の南部の一部だけしか稲作ができなかったのに、1900年には中央部まで、1929年には一部を除いて、ほとんどの地域で栽培されるようになりました。(監修・保岡 孝之)

